

国連ユニタール イラク奨学プログラム

青年層に向けた起業家・リーダーシップ研修

ユニタールとは

国連訓練調査研究所（UNITAR・ユニタール）は、研修訓練を担う国連機関であり世界の様々な地域で活動しています。知識や学びを通して国際社会が抱える喫緊の課題を効果的に解決するため、個人や政府、組織などの能力開発を図っています。

国連ユニタール広島事務所は、広島という象徴的な都市にある唯一の国連機関です。アフガニスタンやイラク、南スーダンなど紛争を経験している国々の人々に対して、過去13年以上に渡り研修訓練を行ない、平和構築を目指す研修生が持つ独特のニーズについて知見を蓄積しています。

UNITAR
Palais des Nations
1211 Geneve 10
Switzerland
T +41 22 917 8400
F +41 22 917 8047
www.unitar.org

国連ユニタール広島事務所
〒730-0011
広島県広島市中区基町5-44 5階
T +81 082 511 2424
F +81 082 211 0511
www.unitar.org/hiroshima



未来を担う青年のための研修

国連訓練調査研究所（国連ユニタール広島事務所）は日本国の支援のもと「国連ユニタールイラク青年層に向けた起業家・リーダーシップ研修」を開始致しました。イラク共和国は、全人口の50%が19歳以下という非常に若い国です（UNDPイラク事務所）。イラクの若者に対して、地域でリーダーとして活動する社会起業の技能や能力を向上することは、若者が社会の中で積極的に活躍し、地域社会に参加する機会を与えることに繋がります。こうした現地の若者の積極的な社会参画は、地域の活性化、ひいては持続的な社会の安定化に貢献します。

社会の安定化と発展のためには、経済成長が不可欠です。特に、紛争中、または紛争後の国で雇用やビジネスの機会が限られることは、さらなる紛争や暴力に繋がる可能性があります。ニーズアセスメントやプロジェクト作成の能力を強化し、起業家や中小企業のベストプラクティス（成功事例）を共有することは、社会の安定化と地域全体の持続的発展を促します。

これらの状況を踏まえ、本プログラムは、イラク青年層が地域リーダーとして活躍できるよう、現地で経済発展に貢献できる人材の能力を強化し、社会起業家に必要な技能や能力の向上を目指しています。イラクの持続的な復興と成長を支援するために、プロジェクト作成や事業開発とその実施に焦点をあて、特に、リーダーシップや指導法のスキル向上に重点を置いています。

本プログラムは、ブレンド型学習手法を取り入れ、2回のワークショップを実施し、研修期間中に各自が1つのプロジェクトを完成させていきます。また、オンライン研修では社会起業家、リーダーシップやビジネスの実施等のテーマについて学びます。研修生は、ニーズアセスメントの結果を踏まえ、イラクが現在直面している課題に対するプロジェクトを提案します。こうして、研修終了時にすぐに実行可能な事業計画を完成させていきます。



グループワークに取り組む研修生たち

2016年度研修生が作成した案件

女性のエンパワメントのためのオンラインアートストア
地元のアーティストが生み出したアートをオンライン上の市場で販売する Feka Storeを設立します。このビジネスを通じて地元の女性の経済的エンパワメントを支援するコンセプトです。フェカ・ストア氏。

ディベート4ピース（平和への討論）
オープンな討論の文化を生み出すことで、バグダットの若者層の中での様々な背景の人々に対する寛容な姿勢、様々な背景の共存、協力体制を促進します。イラクは多様な背景の人々で構成されており、このような自由な意見交換と異なる意見を受け入れる文化が平和の定着にはとても重要です。このプロジェクトでは研修教材を作成し、ワークショップを実施、ディベート大会などを開催していきます。ユーセフ・イサン・アルワウィ氏。



案件を作成する研修生たち

スケジュール

第1回ワークショップで、研修生は、プロジェクト立案と社会起業のコンセプト、そして地域のニーズを評価するためのベストプラクティスを学びます。広島で行われる第2回ワークショップでは、効果的なコミュニケーション手法を学び、戦略的事業計画を作成します。この2つの研修の合間に、リスク軽減、予算、モニタリングと評価、そして変革管理に関するオンライン研修を実施すると共に、研修生は各自、プロジェクト作成に取り組めます。

社会ビジネスの影響

社会ビジネスとは、様々な社会的課題（例：教育・保健・ジェンダー）をビジネス・チャンスとして捉え、経済活動を通して問題解決に取り組む事業です。地域密着型で地域の雇用を創設し、産み出された利益はさらに大きな社会問題の解決に投資されます。社会的ニーズにビジネスという持続的な方法で対応していくことで、社会はより効率的に機能していきます。多くの社会起業家を目指す人々は、地域社会をより良くするために必要な課題についてはよく認識していますが、実際にその事業を立ち上げるために必要な知識やプロセスについて理解できていません。本プログラムは、そのギャップを埋めるべく、研修生に社会ビジネスを企画し実施するための知識やスキルを提供していきます。

研修の目的

本プログラムは、以下のスキルを身につけることを目的としています。

- ・ ハードスキル（専門的スキル） - プロジェクト作成や事業立案、ニーズアセスメント、プロジェクトの実施、販売戦略、評価など、プロジェクトや事業を進展させ、実施するために必要な能力
- ・ ソフトスキル（対人的スキル） - チームワーク、コミュニケーション、問題解決能力、プレゼンテーション、リーダーシップなど、社会ビジネスを効果的に運用・管理するために必要な能力



熱い議論を交わす研修生たち

この研修では、研修生が各自の発想を実現するために重要なスキルを学びます。また、これらのスキルは、イラク国内の社会起業家同士のネットワーク形成・強化を助け、社会的利益を産み出します。本プログラム終了時、研修生は、

- ・ 社会ビジネスとは何か、今日のイラクで社会ビジネスを創出する重要性を述べることができる。
- ・ 社会ビジネスの計画作成に重要な手順を定義できる。
- ・ ニーズアセスメントの作成・実施と、その報告を作成する手順を述べることができる。
- ・ パフォーマンスの高いチームの特性を説明できる。
- ・ ステークホルダーの選定とエンゲージメントの方法について説明できる。
- ・ 彼ら自身がリーダーシップを発揮することで、イラクにどのような貢献をすることができるかその効果を述べることができる。

「今まで政府関係者、民間部門、NGOが共に学べる機会が減多にありませんでした。しかし、このプログラムでは様々な専門分野から来た人々が共に学び、お互いをより理解しようとする場を提供してくれました。イラクに戻ったら、この研修を応用して協力して仕事をしたいと思います。」

サマ・バシル・カマル・アルジュブリ氏

専門家の支援

ユニタール職員に加え、国際色豊かな講師やメンターたちが体験談を共有したりアドバイスや意見交換をしながら、期間中研修生をサポートしていきます。

優秀な研修生は次年度の研修のコーチとして選ばれ、コーチングに関する特別な研修を受け、将来のイラクを担う人材育成にかかわっていきます。



原爆ドーム

広島

第2回ワークショップは広島にて開催されます。広島は、世界で初めて原子爆弾が投下された後短期間で復興を成し遂げました。そして、世界中に平和を訴え続け、広島がたどった様々な体験談を共有しています。「平和の街」と呼ばれる広島を訪れた人々は、原子爆弾の破壊力を目の当たりにし、世界平和の推進と核兵器の廃絶を願うことでしょう。